



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.49 June 10, 2015

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。



[ジョークと私]

いずれの国もそれぞれに・・・

舟崎 正敏

ジョークはまさに人生の潤滑剤。今まで下記のような話を聞いたり話したりして楽しみながら過ごしてきました。そして今またジョークの会の皆様の収集された、また創作された、素晴らしいジョーク、面白い話を楽しませてもらっています。

内容が少々高度すぎて小生はアップアップですが、会の維持のためには人数が必要という世話人殿のお言葉を頼りに、居座って楽しませて貰っています。

1. カナダからのお客の仲間同士の会話から

A: 今日は 30 年目の結婚記念日なんだ。日本出張でワイフと一緒に祝えないけどね。

B: 君の奥さんはよほど良い奥さんに違いない。30 年も君の奥さんをやっているなんて。

2. 英国で

支店のかわい子ちゃんに当時独身の私が「僕なんかどう？」と言ったら、彼女にっこり笑って、“Have you got a lot of money?” しょうがないから “I am a millionaire in Italian Lira.” (当時 Lira は下落がひどく、50 万リラ札があった) と言ったが、英ポンドでないと駄目と言われあえなく撃沈。

何十年後かに、TV でグラフと伊達選手のウィンブルドンテニスの試合中継を見ていたら、上部の観客席の男性が “Graf, marry me” と叫んだ。グラフもさすがで、“How much money do you have?” とやりかえした。伊達選手が、あとで新

聞記者に「私じゃ駄目なの」と言ってやろうかと思ったと言った由。一流選手は緊迫した試合中でも、心にこうした余裕を持っているのですね。なお、伊達はこの試合に負けたので、やっぱり駄目だったようで。

3. 中東で

(1) イスラムの国では奥さんを 4 人まで持てるのに、どうして一人しか持っていないのかと取引先の友人に尋ねたら、“I make it a rule not to repeat a mistake.” 実際複数持ってもよいが、平等に愛さねばいけないので、持つのも楽ではないようです。

首都と港町にひとりずつ奥方を持つ 80 歳の取引先の親父は、2 週ごとに 600km 離れた首都と港町を往復していました。運送屋の社長だからできたことでしょうか。

(2) それほど歳でもないのに頭の毛が少ないお客がいました。気にしているようで、自分から「バーナードショウも言っているではないか。It is a matter of distribution. 」と言っていました。中東は旧英領だったところもあり、英国の影響大です。

4. 日本で

日本もまたジョーク大国だと思います。きまろさんが言っていました。「ワイフは結婚前、食べたいくらいかわいかった。あれから 30 年、 - - - あのとてき食べてしまえばよかった」。



第 49 回研究発表会

Word of the Year

を楽しむ

小池 温

American Dialect Society の“Word of the Year 2014” (以下 WoY) に “#blacklivesmatter” が選出された。black (黒人)、lives (命)、matter (事件) の合成語。続発した白人警官による黒人殺害事件について、tweet する時の見出しに # (hashtag) 付きで使う。社会現象を如実に反映した新語である。

他の候補は、次の 4 語。“bae” は、「彼・彼女」のことで、babe・baby からの変形。“columbusing” は米国大陸を発見したコロンブスをもじり、既知の事柄を自分が見つけたように自慢する白人。“manspreading” は、足を広げて座る無作法な男。“even” は新語ではないが、新語でなくても非常に持つべき言葉は“WoY” の対象となる。“even” は、“I can't even” (耐えられない) 等、困難・否定の意味で使われるのが流行った。(昨年の “WoY” も、新語ではない “because” だった。Because の後に of や sentence を付けず、“because tired” (疲れたから) とか、“because useful” 役に立つから) とか、単語だけを後に付けるのが好まれた。)

部門賞は以下の通り。“Most Useful” 賞は上記 “even”。候補は、“budtender” (麻薬扱い人)、“Ebola” (エボラ出血熱)、“robocar” (自走車)、“unbothered” (煩わされないこと)。

“Most Creative” 賞は、上記 “columbusing”。候補は、上記 “manspreading” の他、“misogyny-noir” (黒人女性嫌い)、“narcissistick” (selfie stick (自分撮杖) に陶醉していること)。

“Most Unnecessary” 賞は、“baeless” (彼・彼女がいない)。候補は、“basic” (これも英語の

基本用語だが、「不快」「無知」等、否定的に使う)。“lumbersexual” (樵夫のような荒ら荒らしい服装をする男)。

“Most Outrageous” 賞は、“second-amendment”。(米国憲法修正第 2 条は保身のための銃の保有を認めているので、殺人者が第 2 条適用を主張する)。候補は、“sugar-dating” (人に甘い sugar daddy と、相手の sugar baby が会う)。“God view” (米国・インド等で Uber 社がスマホで申し込まれたタクシーを配車する時のコンピューター画面)。

“Most Euphemistic” 賞は、“EIT” (enhanced interrogation technique。CIA 等の拷問手法)。候補は、“Bye, Felicia” (映画 “Friday” の Felicia のような、いいかげんな相手に言う言葉)、“conscious uncoupling” (穏やかに離婚・別離すること)、“thirsty” (特に性的な渴望)。

“Most Likely to Succeed” 賞は、“salty” (怒りを示す用語)。候補は、“casual” (ゲーム等の初心者)、“plastiglomerate” (ハワイで見つかったプラスチック・砂・貝殻等が溶け合ってできた石)。“selfie stick” (自己撮りカメラにつける杖)。

“Least Likely to Succeed” 賞は、“plati-sheer” (メディアの出版だけでなく、演技も行なう人)。候補は、“normcore” (normal + hardcore で、普段着でもかっこよくみせること)、“pairage” (Utah 州の役人が言った同性結婚の別名)。

“Most Notable Hashtag” 賞は、“#black-livesmatter”。候補は、“#icantbreathe” (白人警官に殺害された Eric Garner の最後の言葉) “#notallmen” (男みんなが性的虐待者でないとの男の言い訳)。“#whyistayed” (家庭内暴力被害者の言葉)。

英国でも Oxford Dictionaries が、WoY を発表しているが、2014 年度は “vape” (電子タバコ) だった。ここに掲げられた Words はいずれもジョークとしても一級品であると思う。



第27回ジョーク・コンテスト

MCの記

相原 悦夫

久しぶりのMCを仰せつかりました。いきなり本題も味気ないと思い、「枕」替わりに最近の朝日新聞の「天声人語」から一口話を紹介しました。“英国人はユーモアが好きだ。苦しい時こそ必要と考えるらしい。第二次大戦中、ロンドンの空襲で半壊したある百貨店は、「本日より入り口を拡張しました」という看板を出したそうだ”（中略）また、“動物園に爆弾が落ちた時は、タイムズ誌が「しかし猿たちの士気はいささかも衰えていない」と書いたそうだ。”（中略）大分市の高崎山自然動物園の赤ちゃん猿に英国王室に誕生した王女と同じシャーロットと名付けたら物議を醸したが、“英王室の広報は鷹揚に、「赤ちゃん猿の命名は動物園の自由です」と語り”一件落ち着いた。

次いでコンテストのルールと手順を説明し、全13題の作品につき一切の説明・コメントなしで第1回投票が行われた後、各作品についてどこが、何故面白いのか下記の通り討議された後、2回目の投票となった。

1. 「夏のビーチで、男性はどういう練習をするのか？ ビキニの女性をみる度に生唾を飲む練習」という解釈で良いのか？ 出題者不在のままの投票の結果は、SUPPLEMENTのとおり。
2. 挿絵は素晴らしかったが、良くある話とされパットせず、手仕舞い。
3. 「男は下書き、仕上げは女性。」は男性蔑視ではとの男性会員の猛反発にも拘わらず高得点。「構造上は逆では？」との反論も女性には勝てず！！
4. 挿絵のクリントン家での家長は明白だが、各国の法律上では如何？ 警察が踏み込むような家長争いが起きるのはどこの国の話？ 第1回投票では2位（8点）だったが、2回目で減点（2点）はドゥユーこと？

5. 地方政治家も活動費調査委員会もこれでダイジョーブ？
6. 夜中遅く彼と一緒に帰宅した娘が静かだったのは父にとっては気掛かり？ さて、あなたならどう思う？
7. 女性に付けたいサイレンサー！！ 女性に付けたいサイレンサー！！（くり返す）小池会員のダントツ・ヒット作。（第1位21点）
8. ひとたびセットされた時間はあなたを待たない。カウントダウンにあなたは耐えられますか？
9. 外遊びが盛んな夫が出掛ける時は結婚指輪を忘れずに付けさせる妻の皮肉な一言は、冷え切った夫婦関係を表す？ Press と Ironically の Iron を掛けた服部会員のハイテクも理解が得られず残念。
10. 多くの日本人がマスクをして街を歩くのは外国人から見ると不思議だそうだ。ウイルス対策かと思ったら、いつでもギャングになって逃走できるから？ ---これジョーク？ と思わせるジョークは面白い(?)でした。
11. draft resistor を徴兵反対と解釈したBは、“まあ、戦争は道徳的観点からはあいまいなところではあるが”と答えたので、Aは発音は同じでも私が言ったのは resistor（扇風機に使われる抵抗器）で resister（反対者）ではなかった。これもまたジョーク？ と思わせる作品で評価は低迷！！
12. 分かれた元妻を今でも思っているかと聞かれた元夫は“少なくとも月に一度は思い出すよ”と言うと、“それはかわいそう”だと。“だってね、それは分割払いで買ったものだから”。
13. 日曜学校のがらくた市の看板に、“とって置く値打ちのない物を処分する好機！！でも捨てるには惜しい。あなたの夫とご同伴でどうぞ！！ “粗大ごみにするな！ するな！！ するな！！ するな！！”でも1点差で3位。（女性には所詮勝てない！）

お疲れ様でした。ご協力有難うございました。

英語のジョーク超入門講座

第2回 駄じゃれのジョーク②

豊田 一男



今回は、同じ発音で綴りの異なる語 (homophone) を使う駄じゃれの絡むジョークです。

1. “Do you hunt bear?”

“No, I always wear hunting clothes.”

(「熊狩りをするのか」「いや、おれはいつもハンティング用の服を着るさ」)

bear と bare の取り違え。「裸で狩りをするのか」と故意に解釈して、「狩猟用の服を着てるよ」と答えたもの。「熊狩りをする」は正しくは hunt bears。

2. Alimony: Bye now, pay later.

(離婚[別居]手当:「今はさよなら、払いはあとで」)

Bye (さよなら (<goodbye の短縮形)) と buy (買う) の駄じゃれ。“Buy now, pay later.” (いま買って支払いはあと) は月賦販売のキャッチフレーズ。

3. You said your mother is dying but I just saw her at the beauty parlor.

(あなたお母様が死にそうだとおっしゃったけど、たった今いつもの美容院でお会いしたわよ。)

dying (<die (死ぬ)の-ing 形) と dyeing (<dye (染める)の-ing 形) の取り違え。お母さんは髪を染めていると言っただけのこと。

4. “How do you spell jealousy with two letters?” “NV.”

(「jealousy (嫉妬)を2文字でどう綴る」「NV」) NV と envy (ねたみ) の駄じゃれです。

5. “What is a knight’s favorite Christmas carol?” “Silent Knight!”

(「騎士のお気に入りのクリスマスキャロルは?」「沈黙の騎士」)

knight (騎士) と night (夜) の駄じゃれ。Christmas carol は「クリスマスの祝歌」の総称で、“Silent Night, Holy Night” で始まる日本語

の「きよしこの夜、聖夜」は最も有名。

6. It is said that for spreading news the female is more dependable than the mail.

(ニュースを広めるには女性の方が郵便より頼りになると言われている。)

Mail (郵便) と male (男性) の駄じゃれ。女性のうわさ話の方がより速く頼りになるということです。

7. When a man breaks a date, he has to. When a girl does, she has two.

(男がデートの約束を破るのはやむをえず。女が破るのは二股。)

to と too の駄じゃれ。has to = has to (break a date); has two = has two (dates) (デートの約束が2つある)。

8. For a mother the son always shines.

(母親にとって息子はいつも輝いている。)

Son (息子) と sun (太陽) の駄じゃれです。

第50回記念特別研究発表会

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時: **2015年7月18日(土)**
14:00~16:00
- 会場: **日本近代文学館** (2階会議室)
(東京都目黒区駒場4-3-55、駒場公園内)
電話: 03-3468-4181
- 交通: 京王井の頭線「駒場東大前」駅(渋谷駅から二つ目)下車。徒歩7分。
- プログラム
司会=安藤雅彦 会員
① 研究発表
「ジョークは国境を越えるか—様々な障壁の考察」
宮本倫好代表

—INTERMISSION—

新著紹介

豊田一男著 『ジョークで楽しむ英文法再入門』
(開拓社刊)

② 研究発表

「ジョークの〇×—若者4人の反応」
豊田一男会員

- 参加費: 会員・非会員とも **1,000円**
- 連絡先: jlweb-renraku@eigojoker.com